

(お 知 ら せ)



平 成 2 1 年 2 月 5 日
日本原子力発電株式会社

東海・東海第二発電所における安全向上への取り組みについて

1. 当該期間に安全対策等 実施した項目

- (1) 発電所の状況
- (2) 発電設備総点検結果の再発防止対策への取り組み状況
- (3) 新潟県中越沖地震を踏まえた東海第二発電所における対応

2. 具体的な内容

(1) 発電所の状況

①東海発電所(廃止措置中)

- ・東海発電所の廃止措置工事については、安全を第一に、熱交換器、燃料取替機及び燃料取扱建屋領域機器等の撤去工事に取り組んでおります。

②東海第二発電所

- ・東海第二発電所は定格熱出力一定運転にて安全運転を継続中です。

(2) 発電設備総点検結果の再発防止対策への取り組み状況

- ①社会一般の視点の涵養と定着などを目的とした講演会を開催しました。(1月29日)
- ②再発防止対策の取り組み状況(平成20年度上期実績を中心としたピックアップ版)について纏めたリーフレットを作成しました。

(3) 新潟県中越沖地震を踏まえた東海第二発電所における対応

①耐震裕度向上工事(地盤改良工事)

- ・非常用海水系配管及び海水ポンプ室周辺を対象とした地盤改良の作業を実施しています。

②耐震安全性評価

- ・耐震安全性評価に係わるより一層のデータ拡充を行うため、敷地周辺の陸域断層及び地下深部構造に係わる補足調査を実施し、評価を行います。これらの補足調査結果等を反映し、より充実させた内容の耐震安全性評価結果としてまいります。

<参考資料>

- 1. 『東海第二発電所 委託運転員及び燃料補助員に対する調達管理の不十分な実施』の対策実施状況
- 2. 『東海第二発電所 不適切な放射性液体廃棄物の放出』の対策実施状況

以 上

『東海第二発電所 委託運転員及び燃料補助員に対する調達管理の不十分な実施』の対策実施状況

(委託運転員及び燃料補助員に対する入所時保安教育未実施)

再 発 防 止 対 策	改 善 措 置 実 施 状 況
① 「工事等仕様書」で保安規定における保安教育の実施を要求する。また、協力会社に対して保安規定の主旨や下部規程の説明を行う機会を設定する。	・ 完了 委託作業の仕様書に保安教育の実施を明文化し、要領書説明会に際し保安規定の主旨や下部規程の説明を行った
② 入所時教育対象者が明確になるよう、教育手順書を変更する。	・ 手順書の変更案を作成済 手順書変更については、他の改善項目と併せて今月中に改正手続きを行う予定。
③ 入所時教育の対象者に変更が生じた場合、その都度、様式変更後の書類の提出を受け、保安教育の実施状況の確認が行えるように教育手順書を変更する。	・ 手順書の変更案を作成済 手順書変更については、他の改善項目と併せて今月中に改正手続きを行う予定。
④ 協力会社 A から当社に提出される従事者名簿において、入所履歴が明確となるよう名簿の様式を見直し、入所時教育の要否確認が容易に出来るようにする。	・ 名簿様式の変更案を作成済 手順書変更については、他の改善項目と併せて今月中に改正手続きを行う予定。なお、従事者情報に関しては現状様式の備考欄に記載し、要否確認を実施中。

『東海第二発電所 不適切な放射性液体廃棄物の放出』の対策実施状況

再 発 防 止 対 策	改 善 措 置 実 施 状 況
① 基本動作の再教育（元データとの確認の徹底、不適合事例集による事例勉強会（安管Gr）、各室Gr内への本事例の周知及び元データとの確認に係る基本動作の再徹底）	・ 事例教育等は継続中。 ・ 不適合事例集は作成中。
② 放射性液体廃棄物測定結果作成時の連絡・確認（記録作成時に担当者と測定者が連絡を取り、測定終了確認することを放出管理手順書に規定する）	・ 完了 放出管理手順書に規定した。
③ 放射能測定結果出力様式の識別の改善（記録類は東１、東２の区別が不明確であるため様式を変更し識別しやすくする。事象発生翌日より暫定対策としてスタンプによる発電所名の識別を行う）	・ 完了 スタンプによる発電所名の識別を実施。 恒久対策として放出管理手順書を改訂し記録の様式を変更した。
④ 確認方法の改善（安管GMは確認者を指名して担当者と確認者でダブルチェックを実施させることを放出管理手順書等に規定する）	・ 完了 放出管理手順書に規定した。
⑤ 帳票「放射性液体廃棄物測定結果」への測定データ出力の電算化（Ge帳票から測定結果帳票への自動転記、東１と東２の帳票の異なるプリンタへの出力等）	・ 現在システム設計中。平成21年上期中に完了予定。
⑥ 判明した原因を踏まえて、今後、根本原因分析を行いその結果に基づき再発防止策を行う。	・ 実施中。